

登頂断念! 3500円で楽しむ東京スカイツリー周辺散歩

# サンデー毎日

大正11年3月31日第三種郵便物認可  
2012年6月3日発行 第91巻第23号 通巻5109号  
毎週火曜日発行(5月22日発売)

6.3号  
定価 370円



## 皇室ジャーナリスト覆面鼎談 天皇家のウラを語る

皇室ジャーナリスト覆面鼎談

女性宮家から合葬まで

「ハカトモ」死後離婚…  
最新「墓」事情

親方株にしがみつく  
角界の悲運と暗愚

福島・川内村ルポ  
〇ペタ米作ってみせる

バイアグラを飲めない  
男たちED克服法

## 「橋下首相」への野望

全真相

8月解散「想定」

国会議員引き抜き作戦

吉瀬美智子

# 登頂断念! 「3500円」で楽しむ 東京スカイツリー周辺散歩

開業したものの、今は「高根の花」の東京スカイツリー（東京都墨田区）である。ならば登ったつもりでチケット代の3500円（天望デッキ事前購入2500円＋天望回廊1000円）を持ち下界散策といこう。下町ならではの定番、そして意外な魅力が待っていた。

「大川」の由来を体で実感  
舟めぐりで江戸っ子気分?

日本橋のたもとから下を流れる日本橋川の棧橋へ降りると、かわいらしい小さな舟が停泊していた。定員は10人。胴に巻く救命具をつけて乗船する。参加者の大半はご年配の方々。満席だが、ソファのような席は座り心地がよく、窮屈さは感じられない。

正午に小舟は出発。まずは西の上流を目指す。すーっと水面を滑り出した小舟。ふと、エンジン音がしないことに気づく。

「この舟、電気ボートなので、とても静かなんです」ガイド役の宮加奈子さんがそう説明する。昔の渡し舟にでも乗っているかのような感覚になつてくる。

東京スカイツリーを眺めるスポットは、もはや紹介されつくしている。それならば、水上からの眺め、しかも運河巡りなどの小さな舟からがいいと思ひ、「江



日本橋のたもとにある棧橋。対岸にかつて魚河岸があった



日本橋川から見上げる首都高はダイナミックだ

戸東京再発見コンソーシアム」が運営する「舟めぐり」を選んだ。

2009年から実施され、現在は今回参加した「日本橋川コース」のほか、3コースがあり、いずれも日本橋船着場が発着場所となっている。

日本橋をくぐり、三つある「ときわ」橋を巡る。「常盤」「常磐」と漢字が異なっていることなどを、資料を見せつつ宮さんが解説。

「このあたりは海に近いため、1日で2回ほど水位が上下します」

舟ならではの話に、みんな驚きの声をあげたり、うなずいたりしている。

下流へ方向を変えた舟は

出発した棧橋前を通過する。棧橋の対岸は、日本橋の魚河岸があった場所。江戸時代、たくさんの舟がここを行き来した。この小舟に乗っていると、江戸っ子と同じ気分が味わえそうだ。

隅田川に出ると、それがさらにはつきり感じられた。揺れがとたんに大きくなったのだ。かつて「大川」と呼ばれた隅田川。その意味が全身で理解できた。大きな遊覧船ではとても実感できないことだろう。

そして、上流方向に東京スカイツリーが現れた。清洲橋の向こうにすつと直立

した姿は、横たわる優美な吊り橋とともに印象的。舟には小さな歓声があがる。全速力を出してもゆったりと漂うようにしか進めない小舟は、時折通り過ぎる遊覧船のたてる波にも揺れる。大都市の新名所を眺めつつも、体感しているのは江戸時代。そう考えると不思議でおもしろい。

さまざまな場所から東京スカイツリーは眺められるが、この小舟からの風景は、ユニークでドラマティックだった。

東武ホテルレバント東京24階の「簾」は、東京スカイツリーを眺めながら豪華

634メートルの眺めに舌つづみ  
予約殺到のベストスポット

ランチが楽しめる。同ホテルは東京スカイツリーのオフィシャルホテルにも認定

**江戸東京再発見  
コンソーシアム**

☎03-3668-0700  
[受付]9:00~12:00 13:00~17:00  
[休]土・日曜日、祝日  
「日本橋川コース」(約1時間、2500円)、「神田川コース」(小名木川コース)「深川コース」(いずれも約1時間半、3500円)。各コースとも定員10人。予約優先。  
<http://www.edo-tokyo.info/>